



Windows 用 Cisco UCS 仮想インターフェイスカードドライバ インストールレーションガイド

初版：2011年09月06日

最終更新：2013年12月12日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2014 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

はじめに v

マニュアルの構成 v

このリリースの新規情報および変更情報 vi

Cisco UCS の関連ドキュメント vi

マニュアルに関するフィードバック vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート vii

概要 1

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要 1

サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア 1

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール 3

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード 3

ISO イメージバンドルの入手 3

Cisco UCS VIC ドライバのインストール 4

取り付け方法 4

OS インストール (Windows 2012 および 2012 R2) 中の Windows ドライバインストール 4

OS インストール (Windows 2008 SP2、および R2) 中の Windows ドライバインストール 5

OS インストール (Windows 2008 SP2) 後の Windows ドライバインストール 6

OS インストール (Windows 2008-R2) 後の Windows ドライバインストール 7

既存の Windows ドライバの更新 (Windows 2008 SP2 および R2) 7

NIC チーミング ドライバのインストール 8

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて 8

Windows 用 NIC チーミング ドライバの取得 9

コントロール パネルからの NIC チーミング ドライバのインストール 10

コマンドプロンプトからの NIC チーミング ドライバのインストール 10

enictool.exe を使用した NIC チーミング ドライバの設定	11
iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのインストール	12
Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール	13
Windows ドライバのアンインストール	13
NIC チーミング ドライバのアンインストール	14
iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール	14



はじめに

この前書きは、次の項で構成されています。

- [マニュアルの構成, v ページ](#)
- [このリリースの新規情報および変更情報, vi ページ](#)
- [Cisco UCS の関連ドキュメント, vi ページ](#)
- [マニュアルに関するフィードバック, vii ページ](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート, vii ページ](#)

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	Title	説明
第 1 章	概要	Cisco UCS VIC ドライバの概要について説明します。
第 2 章	Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール	Cisco UCS VIC ドライバを入手してインストールする方法に関する情報が含まれています。
第 3 章	Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール	Cisco UCS VIC ドライバのアンインストールについての情報が含まれます。

このリリースの新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。このリリースで新しくサポートされるハードウェアの詳細については、『[Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap](#)』で利用可能な『*Release Notes for Cisco UCS Administration Software*』を参照してください。

表 1: 新機能

機能	説明	参照先
NIC チーミング ドライバ	ハイアベイラビリティとロードバランシングのために複数の NIC のチーミング (ボンディング) が可能です。	Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて , (8 ページ)
新しい Cisco UCS VIC ドライバ インストールガイド	Cisco UCS VIC ドライバのプラットフォーム固有のインストールガイド。	<i>Windows 用 Cisco UCS 仮想インターフェイスカードドライバインストールガイド</i>

Cisco UCS の関連ドキュメント

ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの一覧については、<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc> で入手できる『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての C シリーズ マニュアルの一覧については、<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc> で入手できる『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

その他のマニュアル リソース

B シリーズと C シリーズのすべてのドキュメントが格納された ISO ファイルは、次の URL から入手できます。<http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821> このページで、[Unified Computing System (UCS) Documentation Roadmap Bundle] をクリックします。

ISO ファイルは、ドキュメントのメジャー リリースの後に更新されます。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、[Cisco UCS Docs on Twitter](#) をフォローしてください。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバック フォームよりご連絡ください <mailto:ucs-docfeedback@cisco.com>。ご協力をよろしくお願いいたします。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、[Cisco UCS Docs on Twitter](#) をフォローしてください。



第 1 章

概要

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要, 1 ページ](#)
- [サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア, 1 ページ](#)

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード (VIC) ドライバは、サポートされるオペレーティングシステムと Cisco UCS 仮想インターフェイス カード (VIC) との間の通信を容易にします。

Cisco UCS VIC ドライバ ISO バンドルには、eNIC ドライバと fNIC ドライバが含まれます。eNIC は Cisco UCS VIC イーサネット NIC 用のドライバです。fNIC はイーサネット HBA 上の Cisco UCS VIC ファイバチャネル用のドライバです。

Windows の場合、サーバが Microsoft iSCSI イニシエータを使用してシスコ VIC イーサネットインターフェイスから起動されたときの Windows のクラッシュ ダンプをサポートする iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバも ISO バンドルに含まれています。

サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア

サポートされているハードウェアおよびソフトウェアの完全なリストについては、次の URL にあるこのリリースの『*Hardware and Software Interoperability Matrix*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html



第 2 章

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード](#), 3 ページ
- [Cisco UCS VIC ドライバのインストール](#), 4 ページ

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード

ISO イメージバンドルの入手

この手順では、UCS ドライバ ISO バンドルをダウンロードする方法について説明します。このバンドルにはほとんどの Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバが含まれています。場合によっては、ドライバのインストール手順に注記された別のバンドルにドライバが含まれる場合があります。

手順

- ステップ 1** Web ブラウザで、<http://www.cisco.com>を開きます。
- ステップ 2** [Support] で [All Downloads] をクリックします。
- ステップ 3** 製品選択で [Products] をクリックし、さらに [Unified Computing and Servers] をクリックします。
- ステップ 4** 入力を求められたら、Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力して、ログインします。Unified Computing System (UCS) ドライバをダウンロードするには、サインインする必要があります。
- ステップ 5** サーバを選択します。
Cisco UCS B シリーズブレードサーバソフトウェアと Cisco UCS C シリーズラックマウント UCS 管理サーバソフトウェアの両方の Cisco UCS ドライバが利用可能です。

- ステップ 6 [Unified Computing System (UCS) Drivers] をクリックします。
- ステップ 7 [Release Notes] リンクをクリックして、リリース ノートの最新バージョンを表示します。
- ステップ 8 ダウンロードする各ドライバ ISO に対して、次の作業を行います。
- ダウンロードするリリースのリンクをクリックします。
デフォルトでは最新のリリースバージョンが選択されます。
 - ダウンロード方式を選択し、ドライバのダウンロードを実行します。プロンプトに従います。

Download

ソフトウェアを即時ダウンロードします。

Add to Cart

後でダウンロードするドライバ ISO をカートに追加します。

次の作業

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバをインストールする前にリリース ノートをお読みください。

Cisco UCS VIC ドライバのインストール

取り付け方法

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバ (Windows 用) の場合、次のようにインストールできます。

- Windows OS の新規インストール時。
- OS のインストール後、デバイス マネージャを使用して。

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバをインストールし、更新するために管理者権限が必要となります。

OS インストール (Windows 2012 および 2012 R2) 中の Windows ドライバインストール

SAN LUN に Windows をインストールする場合は、OS のインストール中に Windows 用 Cisco VIC ドライバをインストールする必要があります。OS のインストール時にドライバを提供しない場合、システムは SAN LUN を検出できません。

Windows がローカルハードディスクにインストールされる場合、OS のインストール中のドライバのインストールは不要です。OS のインストールが完了した後でドライバをインストールできます。

**注意**

ドライバのインストールファイルはシステムディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

- ステップ 1 インストール DVD または仮想メディアを使用して Windows のインストールを開始します。
- ステップ 2 [Where do you want to install Windows] 画面で、[Load Driver] をクリックします。
- ステップ 3 ドライバを参照し、[OK] をクリックします。ドライバは [Select the drive to be installed] ウィンドウに表示されます。
- ステップ 4 正しいドライバが [Select the drive to be installed] 画面に表示されているのを確認し、[Next] をクリックします。
- ステップ 5 SAN LUN への Windows のインストールを継続するか、SAN LUN を [Where do you want to install Windows?] 画面で選択します。 screen

OS インストール (Windows 2008 SP2、および R2) 中の Windows ドライバインストール

SAN LUN に Windows をインストールする場合は、OS のインストール中に Windows 用 Cisco VIC ドライバをインストールする必要があります。OS のインストール時にドライバを提供しない場合、システムは SAN LUN を検出できません。

Windows がローカルハードディスクにインストールされる場合、OS のインストール中のドライバのインストールは不要です。OS のインストールが完了した後でドライバをインストールできます。

**注意**

ドライバのインストールファイルはシステムディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

-
- ステップ 1 インストール DVD または仮想メディアを使用して Windows のインストールを開始します。
 - ステップ 2 [Where do you want to install Windows] 画面で、[Load Driver] をクリックします。
 - ステップ 3 ドライバを参照し、[OK] をクリックします。ドライバは [Select the drive to be installed] ウィンドウに表示されます。
 - ステップ 4 正しいドライバが [Select the drive to be installed] 画面に表示されているのを確認し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 5 SAN LUN への Windows のインストールを継続するか、SAN LUN を [Where do you want to install Windows?] 画面で選択します。
-

OS インストール (Windows 2008 SP2) 後の Windows ドライバインストール



注意

ドライバのインストールファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

-
- ステップ 1 Windows が新しくインストールされたファイバチャネルまたはイーサネット デバイスを検出し [Found New Hardware] ウィザードが表示された場合、[Locate and install driver software (recommended)] をクリックします。
 - ステップ 2 ディスクを挿入するように求められた場合、[I don't have the disc. Show me other options.] をクリックします。
 - ステップ 3 [Browse my computer for driver software (advanced)] をクリックします。
 - ステップ 4 ドライバをブラウズし、[Next] をクリックします。
 - ステップ 5 [Would you like to install this device software?] ウィンドウで、[Install] をクリックします。
 - ステップ 6 [Close] を 2 回クリックして、ドライバソフトウェアのインストールを完了します。
 - ステップ 7 Windows が SAN ブートに続いて次のメッセージを表示した場合、[Yes] をクリックしてコンピュータをすぐに再起動します。

System Settings Change. Windows has finished installing a new device. The software that supports your device requires that you restart your computer. You must restart your computer before the new settings will take effect. Do you want to restart your computer now?

OS インストール (Windows 2008-R2) 後の Windows ドライバインストール



注意

ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

- ステップ 1 Windows は新しくインストールされたファイバチャネルまたはイーサネット デバイスを検出し、[Device driver software was not successfully installed] メッセージが表示されます。
- ステップ 2 イーサネットまたはファイバチャネル デバイスを右クリックし、[Update driver software] を選択します。
- ステップ 3 [Browse my computer for driver software] をクリックします。
- ステップ 4 [Let me pick from a list of device drivers on my computer] をクリックします。
- ステップ 5 [Select your drivers type from the list below] ウィンドウで、[Show All Devices] を選択したまま [Next] をクリックします。
- ステップ 6 [Select the device driver you want to install for this hardware] ウィンドウで、[Have Disk] をクリックします。
- ステップ 7 [Install from Disk] ウィンドウで、[Browse] でドライバを参照し [OK] をクリックします。
- ステップ 8 [Select the device driver you want to install for this hardware] 画面で [Next] をクリックします。
- ステップ 9 [Close] をクリックしてウィザードを終了します。
- ステップ 10 Windows が SAN ブートに続いて次のメッセージを表示した場合、[Yes] をクリックしてコンピュータをすぐに再起動します。
`System Settings Change. Windows has finished installing a new device. The software that supports your device requires that you restart your computer. You must restart your computer before the new settings will take effect. Do you want to restart your computer now?`

既存の Windows ドライバの更新 (Windows 2008 SP2 および R2)



注意

ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

-
- ステップ 1** デバイス マネージャを起動します。
- [My Computer] を右クリックします。
 - [Manage] を選択します。
 - [Device Manager] を選択します。
- ステップ 2** アダプタを展開します。
- eNIC ドライバでは、[Network Adapters] を展開します。
 - fNIC ドライバについては、[Storage Controllers] を展開します。
- ステップ 3** [Devices] リストで、アダプタを右クリックして [Update Driver Software] を選択します。
[Update Driver Software] ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** [How do you want to search for driver software?] 領域で、[Browse my computer for driver software] を選択します。
- ステップ 5** アダプタを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Install from Disk] ウィンドウで、ドライバファイルを参照し、[OK] をクリックします。
- ステップ 7** [restart] ポップアップの [OK] をクリックしてサーバを再起動します。
-

NIC チーミング ドライバのインストール

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバは Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 64 ビットでサポートされています。ドライバは Windows のコントロール パネルまたは Windows コマンド プロンプトでインストールできます。



- (注)
- Hyper-V ゲスト オペレーティング システムは、Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバではサポートされません。
 - NIC チーミング ドライバでは最大 4 チームをサポートします。

ドライバをインストールした後、ドライバ ファイル付属の **enictool.exe** コマンドライン ユーティリティを使用して NIC チーミングを設定できます。ドライバは次のチーミング モードをサポートします。

- Active-Backup (フェールバックありまたはなし)
- Active-Active (送信ロード バランシング)

- 802.3ad LACP

ドライバは次の送信ロード バランシング方式をサポートします。

- TCP 接続
- 送信元および宛先 MAC アドレス
- MAC アドレスと IP アドレス

ドライバはロード バランシング用の次のハッシュ オプションをサポートします。

- XOR ハッシュ
- CRC ハッシュ

Windows 用 NIC チーミング ドライバの取得

シスコ NIC チーミング ドライバは UCS 関連の Windows ユーティリティ ISO に含まれています。

手順

- ステップ 1** Web ブラウザで、<http://www.cisco.com>を開きます。
- ステップ 2** [Support] で [All Downloads] をクリックします。
- ステップ 3** 製品選択で [Products] をクリックし、さらに [Unified Computing and Servers] をクリックします。
- ステップ 4** 入力を求められたら、Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力して、ログインします。UCS ドライバをダウンロードするには、サインインする必要があります。
- ステップ 5** プラットフォームに応じて、Cisco UCS B シリーズブレードサーバソフトウェアまたは Cisco UCS C シリーズラックマウント UCS Managed Server ソフトウェアのいずれかを選択します。
- ステップ 6** Unified Computing System (UCS) ユーティリティをクリックし、Windows プラットフォームを選択します。
- ステップ 7** ダウンロードするリリースのリンクをクリックします。デフォルトでは最新のリリースバージョンが選択されます。
- ステップ 8** [Release Notes] リンクをクリックして、リリース ノートの最新バージョンを表示します。
- ステップ 9** ダウンロード方式を選択し、ドライバのダウンロードを実行します。プロンプトに従います。

Download

ソフトウェアを即時ダウンロードします。

Add to Cart

後でダウンロードするユーティリティ ISO をカートに追加します。

次の作業

ドライバをインストールする前に *Cisco UCS* 仮想インターフェイス カード ドライバのリリース ノートを読んでください。

コントロール パネルからの NIC チーミング ドライバのインストール

手順

-
- ステップ 1 Windows で、[Start] > [Control Panel] とクリックします。
 - ステップ 2 [Network and Sharing Center] を探してクリックします。
具体的な場所については、Windows サーバのマニュアルを参照してください。
 - ステップ 3 [Network and Sharing Center] で、[Manage Network Connections] をクリックします。
 - ステップ 4 [Network Connections] フォルダで、イーサネット インターフェイスを右クリックし、[Properties] を選択します。
 - ステップ 5 [Install] をクリックし、[Protocol] > [Add] と選択します。
 - ステップ 6 ドライバディレクトリを参照し、[OK] をクリックします。
シスコ NIC チーミング ドライバがインストールされ、イーサネット インターフェイス プロパティ にリストされます。
-

次の作業

コマンドプロンプトでチームを作成または削除するには、**enictool.exe** ユーティリティを実行します。

コマンド プロンプトからの NIC チーミング ドライバのインストール

手順

-
- ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。
 - ステップ 2 コマンドプロンプトで、**enictool -p** "ドライバディレクトリ" と入力します。
シスコ NIC チーミング ドライバは指定したディレクトリにある .inf ファイルを使用してインストールされます。

例 :

次に、一時ディレクトリにある .inf ファイルを使用してチーミング ドライバをインストールする例を示します。

```
C:\> enictool -p "c:\temp"
```

次の作業

チームを作成および削除するには、**enictool.exe** ユーティリティを使用します。

enictool.exe を使用した NIC チーミング ドライバの設定

手順

ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンドプロンプトを開きます。

ステップ 2 チームを作成するには、**enictool -c** "接続リスト" **-m** モードと入力します。モードオプションは、次のとおりです。

- 1 : アクティブ バックアップ
- 2 : アクティブ バックアップ (アクティブ モードへのフェールバック)
- 3 : アクティブ アクティブ (送信ロード バランシング)
- 4 : 802.3ad LACP

例 :

この例では、アクティブ バックアップ モードで 2 枚の NIC のチームを作成します。

```
C:\> enictool -c "Local Area Connection" "Local Area Connection 2" -m 1
```

ステップ 3 チームを削除するには、**enictool -d** "接続リスト" と入力します。

例 :

次の例では、2 枚の NIC のチームを削除します。

```
C:\> enictool -d "Local Area Connection" "Local Area Connection 2"
```

ステップ 4 追加オプションと使用方法についての情報を表示するには、**enictool /?** と入力します。ロード バランシング方式、ロード バランシング ハッシュ方式、およびその他のオプションを設定するには、表示されたコマンド オプションの情報を使用します。

iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのインストール

手順

- ステップ 1** 管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。
- ステップ 2** iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバユーティリティを使用して iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバをインストールするには、次のコマンドを入力します。
edumputil -i "C:\sample\edumpw164.sys"
- ステップ 3** ホストをリブートします。
-



第 3 章

Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- [Windows ドライバのアンインストール](#), 13 ページ
- [NIC チーミング ドライバのアンインストール](#), 14 ページ
- [iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール](#), 14 ページ

Windows ドライバのアンインストール

手順

-
- ステップ 1** デバイス マネージャを起動します。
- a) [My Computer] を右クリックします。
 - b) [Manage] を選択します。
 - c) [Device Manager] を選択します。
- ステップ 2** アダプタを展開します。
- eNIC ドライバでは、[Network Adapters] を展開します。
 - fNIC ドライバについては、[Storage Controllers] を展開します。
- ステップ 3** [Devices] リストで、アダプタを右クリックし、[Uninstall] を選択します。
- eNIC ドライバでは、[Cisco VIC Ethernet Interface] を右クリックします。
 - fNIC ドライバでは、[Cisco VIC FCoE Storport Miniport] を右クリックします。
- ステップ 4** [Confirm Device Removal] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
-

NIC チーミング ドライバのアンインストール

手順

-
- ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。
 - ステップ 2 コマンド プロンプトで、**enictool -u** と入力します。
シスコ NIC チーミング ドライバがアンインストールされます。
-

iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール

手順

-
- ステップ 1 管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。
 - ステップ 2 iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバユーティリティを使用して iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバをアンインストールするには、次のコマンドを入力します。
edumputil -u
 - ステップ 3 ホストをリブートします。
-